

注：指示があるまで開けないで下さい。

総合防犯設備士資格認定試験

第一次試験(筆記方式)

A 基礎問題 (必須)	
出題	10 問
時間	90 分
配点	1 問 20 点・合計 200 点

受験番号	— —
氏 名	

注意事項

1. 座席は指定されています。受験番号を確認して着席して下さい。
2. 机の上には「受験票」「筆記用具」以外のものは置かないで下さい。
3. **受験番号・氏名は、はっきりと記入して下さい。**
4. 解答は、設問にしたがって記入して下さい。
5. 「試験問題」・「解答用紙」は試験終了後すべて回収します。
6. 試験時間内に退席される場合は、試験問題・解答用紙を机の上に置き試験官の許可を得て静かに退席して下さい。
ただし、試験開始後30分、および試験終了前10分間は退席できません。
退席後、試験会場近辺では、静かにお願いします。
7. 試験会場においては、試験官の指示にしたがって下さい。



A 問題-1 (セキュリティについて)

安全で平和な生活と組織活動を継続するための資源であり、財産であるリソースを記入例にならって五つ記せ。

番号	分類	リソース
①	無体物	
②		
③		情報(プライバシーを含む財産的価値のある情報でも可)
④	有体物	
⑤		
⑥		

問題-2 (セキュリティについて)

セキュリティマネジメントの定義及び意義・効果の内容について記せ。

解答欄

<定義>

<意義・効果>

●

●

A 問題－3（防犯の理論）

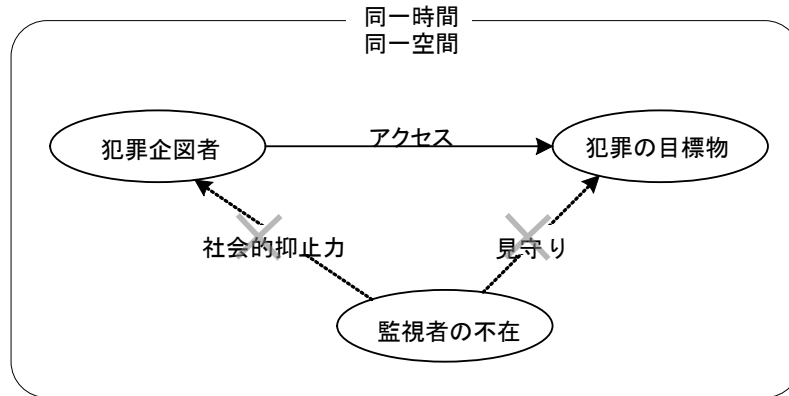
犯罪を防ぐ研究は、古くから社会学の分野で行われてきた。その大きな流れとして犯罪者自身に焦点を当てた犯罪原因論とよばれるアプローチと、犯罪が発生する環境に焦点を当てた犯罪機会論とよばれるアプローチがある。それらの研究のうち現在の防犯対策の基礎となっている犯罪機会論に関する理論名を四つ挙げ、記入例にならって空欄を埋めよ。

解答欄

①	状況的犯罪防止理論
②	
③	
④	
⑤	

A 問題－4 （防犯対策の考え方）

下図は機会犯罪の発生の構図を表している。このような構図を打破するために防犯環境設計の考え方により対策する。下表左欄の対策に対応する防犯環境設計の4原則を右欄に記せ。



犯罪企図者などの部外者の存在が不自然に見え、社会的に抑止が働くような雰囲気を作ること	
侵入口となる窓や出入口が突破されないように強化すること	
犯罪企図者が見られている状態を作ること	
侵入口となる部分に容易に近づけないようにすること	

A 問題－5（防犯設備の構築）

防犯設備の設計の手順では

1. 要求事項の明確化
2. 対象物件の状況の確認、防犯診断
3. 基本計画
4. 実施設計
5. 設計の評価

の順に進める。この内 5. 設計の評価では、

- (1)防犯上の有効性の検証
- (2)設計内容の検証
- (3)運用面からの検証
- (4)維持管理面からの検証
- (5)総合評価

等について検討する。

上記「(3)運用面からの検証」で必要な項目を記入例にならって四つ記せ。

解答欄

①	防犯設備の運用にあたって利用者に不便を強要することはないか？
②	
③	
④	
⑤	

問題－6（防犯設備の設計）

下表は、防犯カメラシステムを構築するのに必要な注意点を「撮影対象場所」、「設置場所」などの項目ごとに整理したものである。空白部分を埋めよ。

撮影対象場所	<p>通達や条例、関連団体などによる基準などで推奨されている場所 防犯診断で判明した犯罪企図者が狙いそうな防犯上脆弱性がある場所 依頼主の意向で設置が要望されている場所等</p>
設置場所	
撮影目的と 画角の選定	
防犯カメラの選定	
デジタル レコーダーの 選定	

A 問題－7(総合防犯監査1)

下記は、総合防犯監査の定義と目的について説明した文章である。文章内の括弧内に当てはまる適切な言葉を各解答欄の指示に従って記せ。

総合防犯監査とは、防犯対策がリスクの評価に基づいて適切に整備・運用されているかを、
 (①)が検証又は評価することによって、(②)を行うことであり、
 単に(③)を指摘するだけでなく、監査対象組織と監査人との協同によって、
 その(④)を図ることを目的とする。

①	どのような立場の者かを記せ。
②	何を行うかを記せ。
③	何を指摘するかを記せ。
④	どのような効果を図るかを記せ。

A 問題－8（総合防犯監査2）

防犯コンサルティングを行うにあたっての留意点を記入例にならって二つ記せ。

①	依頼主とはパートナーとして、同じ立場、同じ視点に立ち、目的・課題を共有する。
②	
③	

A 問題—9(総合防犯1)

犯罪企図者にとっては、侵入は短時間に実行し人目に付くリスクを極力少なくする必要がある。犯行を諦めさせる為の犯罪企図者にとっての脅威を記し、各々推奨する設備や建物部品を記入例にならって空欄を埋めよ。

	犯罪企図者の脅威	推奨する設備や建物部品
①	人の「目」に付くこと	防犯カメラ
②		
③		
④		

A 問題—10(総合防犯2)

サイバー犯罪の特徴として、①匿名性が高い、②犯罪の痕跡が残りにくい③不特定多数者への被害④時間的、場所的節約がない等の特性がある。防犯用レコーダー、ホームルーター、防犯カメラ等のインターネットにつながった電子機器を踏み台にした不正な攻撃に対しサイバー犯罪の特性を理解した上で考えられる対策を下記空欄に記載せよ

	防犯用レコーダー、防犯カメラ等のインターネット電子機器不正攻撃に対する対策
①	個別機器のセキュリティ情報の確認、絶えず最新の状態とする
②	
③	
④	
⑤	